

皆さん、こんにちは。はじめまして、私は
エキです。インドネシアからまいりました。
日本語ではエキ駅はSTATIONを意味し
ますよね? 名前前からして、建設の世界にび
つたりですよね? 私は今年の三月に日本に来
ました。今は日本の建設現場を聖杯の大工と
して働いています。実はインドネシアと日本
の建設業界はそれほど違いはありません。し
かし、言葉や仕事のやり方に慣れるのは本当
に大変です。
今日は、日本の建設の仕事のやりがいにつ
いて、楽しいところ、難しいところ、そして
変えたところを心からお話しします。
まずは、仕事の楽しいのは自分の手で建物
を作ることに参加することです。この仕事が
社会に役立つと感じます。また、日本
の現場のチームワークは素晴らしいです。そ
して、日本人はとても親切です。仕事のこと
でも、日本語のことでも、わからないことが
あれば必ず分かるまで教えてくれます。さう

に、日本の建設業界には日本人だけでなく、ベトナム人、ネパール人、中国人など、さまざまな国の人々が働いています。文化や伝統食など、さまざまな情報交換ができます。お互いに冗談を言い合ったり、交流したり、みんなと協力したりするのは楽しいです。

しかし、仕事の難しいところもたくさんあります。一つ目は、家族から遠く離れていることです。妻と1歳の子供との遠距離恋愛は、本当に憂鬱です。時々、家族に会えなくて寂しくなると、諦めて国に帰りたくなることもあります。しかしその時、私は「今を変えなければ、未来は変わらない」という日本のことわざを思い出しました。その瞬間から、幼い息子の未来への情熱が再び燃え上がったのです。

二つ目は日本の天気です。日本の天気は私の国と全然違います。冬は凍えるように寒く、低体温度が心配ですし、夏は暑すぎて熱中症のリスクがあります。本当に大変です。それに、私の日本語はまだ下手です。ほ

タイトル: 私の仕事のやりがい

会社名: 共栄工業

氏名: ムハンマド エキ ハリヤント

出身国: インドネシア

ば毎日、上司に「自分を考えろ」「頭を使え」と叱られこいます。しかし、それは適応の過程だと思うので、私は気にしませんし、むしろ日本語の勉強にさらに熱心になります。さらに、イスラム教徒として、毎日のお祈りする場所を見つけるのが本当に大変です。建設現場にはお祈り用のスペースがなく、近くで静かな場所を探すのに時間がかります。休憩時間が短いので、急いでお祈りを済ませることが多く、静かに祈ることが難しくなります。また、さらに、日本の建設を変えたいところです。建設業界を変えたいことはいくつもあります。まず、外国人職人がもっと働きやすい環境が必要です。例えば、外国人向けの技能コース、特に特定技能ビザを持つ人の機会を増やしてほしいです。これがあれば、早く仕事に慣れ、自信を持って働けます。また、イスラム教徒のために、現場にお祈りスペースを作してほしいです。簡易なテントまた

TODA MIRAI FOUNDATION

は小さな部屋があれば、安心してお祈りを
き、ストレスが減って仕事に集中できます。
さらに、夏や冬の厳しい天気に対応する設備
や十分な休憩時間があれば、働きやすくなる
と感じます。これらが実現すれば、外国人が
この業界で長く活躍できると思います。
まとめ日本に来てまだ半年ですが、日本の
建設業界は私に多くのことを教えてくれま
す。自分の手で建物を作り上げる喜びや、仲
間との絆は大きなやりがいです。天気、日本
語の言葉、お祈りの場所、叱られることなど
難しいこともありますが、毎日成長している
と感じます。最後、本日の話を通して、私た
ちは建設業界が社会の発展にどれほど重要な
役割を果たしているかを改めて感じることに
できました。すべての大きな建物は、一つの
小さな石から始まります。だからこそ、私た
ちは常に革新し、努力し、日本の建設業界の
発展に貢献していきたいと思います。
以上です。ありがとうございました。